

児童心理治療施設

# さくらの森学園 だより

平成 29 年 4 月

Vol. 1 1

発行：さくらの森学園



平成 29 年度のスタートです！



今年の春は冷え込むことが多く、例年、全国に先駆けて開花していたさくらの花が3月末にやっと咲き始め、4月7日の入学式に満開となりました。

29年度は児童20名、職員は新規採用1名、常勤14名、非常勤8名でスタートです。

長くお世話になった高知医療センターこちらのサポートセンターの泉本先生が退職されることになり、最後にご挨拶させていただいた際に「さくらの森学園の子ども達は落ち着きましたね。課題を抱えた子どもの受診時に、これが出来ない、これに困っていると言われることが多いのですが、さくらの森学園の職員さんは、子ども達の良いところ、小さな変化、成長を伝えてくれます。」と言葉をかけてくださいました。

子ども達の成長の芽を大事に育てる施設でありたいと常々思っていました、職員にもその考えが浸透していることを知り嬉しく思いました。

今年の事業計画として、ITの活用と子ども達の居室の完全個室化をあげました。

ITの活用として、職員の記録業務の効率化を図るためにソフトを導入し、子ども達にはiPadを使って、視覚に働きかける支援を始めていきます。

予算のこともあり、各棟にiPad1台ずつでのスタートですが、学習アプリを使用したり、本人に確認をとった上で、客観的に自分の行動を動画で見ることで、課題の改善に繋げていく予定です。都市部と違いボランティアがなかなか集まらず、職員のみでは対応する時間が限られていますが、PCやiPadに触れる機会を増やしていきたいと思っています。

施設整備として、生活棟の2階は2部屋に1台の空調ですが、1部屋に1台の設置とし、空調のない部屋に新しく設置する等、子ども達の暮らしの改善を図ってまいります。

さくらの森学園は、一定の治療の効果が上がれば、地域や家庭に帰す役割の施設なので、出会いと別れが多いのが特徴です。支援の時間が限られているからこそ、子ども達には時に厳しく現実と向き合わせなくてはなりません。送り出す際には子ども達の成長を喜びつつ、一抹の寂しさもあり、ステップアップした場所で躓かないようにと、祈るような気持ちになります。

さくらの森学園に暮らす子ども達が「ここに来て良かった」と、さくらの森学園を後にする日に思ってもらえるように、分教室の先生、職員一同心を合わせ、29年度も子ども達を支援していきたいと思ひます。

施設長 中村 久美

## 節分

今年は寄付でいただいた殻付落花生での「鬼は外」

皆でグラウンドに集まり豆まきです。

大豆と違って地面に落ちてても殻付なので大丈夫、後で拾って食べられるぞ、と軽く考えていたが、大豆と違ってぶつけられると痛いなのなの（涙）

当学園では、鬼役は若手男性職員が務めることに決まっていますが、来年は引退させて欲しい、とボヤクので、カツを入れにベテラン職員もドラえもんになって参入です。

若者よ、来年の話をするとう鬼に笑われますよ～（笑）



## 佐川小・中学校分教室 卒業式

平成28年度卒業証書授与式が3月15日におこなわれ、小学生2名、中学生1名、計3名が卒業しました。

この場をお借りして、分教室に関わっていただいた各関係機関の方々や、保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今年の卒業式の歌は、中学生が決めた「いきものがかり」の「YELL（エール）」。小学生には少し難しい内容でしたが、朝の会やいろいろな機会に取り組み、全員で気持ちをこめて歌うことができました。最後の別れの歌は、「旅立ちの日に」の合唱。音楽で取り組んだ美しいハーモニーを響かせていました。

卒業式に向けて、生徒たちみんなが、これまでの学校生活の思い出をふり返って送辞を考え、卒業生は答辞に取り組みました。中学校の卒業生は、人前でのスピーチが苦手な、昨年まではそんな役割を避けてきた生徒でした。しかしこの一年は受験という大きな進路の目標に向けて、いろいろ今まで苦手だったことやできなかったことにも挑戦して大きく成長しました。彼は中学校生活最後の卒業式にあたって、覚悟を決めて取り組み、今までの生活をふり返り、関わってくれた方々への感謝を、答辞で堂々と立派に言うことができました。

式では在校生のしっかりとした送辞や態度、また雰囲気も厳かで、心に残る式となりました。

分教室より



## 華棟

新年度が始まり、華棟では気持ちを新たに書初めをしました。子どもたちと職員が、それぞれ今年度の目標や意気込みを書きました。最初は嫌がったり、恥ずかしがっていた子どもたちですが、いざやってみると、あれもこれもと沢山の目標を書いていた。進学を控えた子やバイトを始めた子、分教室で取り組みたいこと…。文字は人を表すと言いますが、一本一本力強く筆に願いを込めていました。ちなみに職員は結婚やダイエットを頑張りたいという声もありましたが、今年度は進路を抱える子どもがたくさんいるので、みんなで一致団結して子どもたちを支えようと誓い合いました。



## 樹棟



みんなでボーリング♪の予定だったのですが、なんとボーリング場の予約が取れておらず、いっぱいのため出来ず・・・予定変更！今、さくらの森で、子ども達に人気のデュエルマスターズのカードを買いに行くことにしました。

その前に、海を見ながらお昼ごはんです。

いつもは職員手作りのお弁当ですが、たまにはお弁当屋さんのを食べたいということでみんなで買いに行きました。それぞれが好きなお弁当を選び、普段はあまり食べられないウナギ丼やステーキ弁当を食べました。お弁当を食べ、浜を走り回り、好きな物を買って大満足の1日でした。



## 杜棟

3月～。卒業の季節を迎え、子どもたちもそれぞれ成長しました。大雪の日、雪の中に飛び出していき、雪合戦をしたり、雪だるまを作ったり、そり遊びをして、はしゃいでいた子どもたちも、進級の時を迎え、一回り大きくなった気がします。

この3月杜棟では、小・中・高とそれぞれの卒業がありました。進級、就職・・・その中で、無事に高校合格もすることができました。

合格発表の日、本人に「合格だったよ。」と伝えると、「本当に俺の番号だった？」と心配するので、番号を写真に撮り、本人に見せると、安心したようでした。

それぞれの進級、就職、合格祝いを兼ねて、棟外出に行きました。映画を観たあと、ゲームセンターで遊び、ブックオフで本やカードを購入して帰ってきました。

春休みの最後に行った牧野公園では、みんなで花見をしてきました。子どもたちも桜も見事に大きな花を咲かせてくれました。



造船専攻	
1005	1058
1009	1059
1013	1061
1017	1062
1021	
1024	以上
1025	13名
1032	
1055	

# ご支援ありがとうございました



伊藤乃 上島千恵子 氏次悟 おかどめぐみこ 北村鮮魚店 果樹園さかもと 片岡牧子 木原恵美子  
(株)クロスポイントアドバイザー 工藤ルリ子 栗田由香里 国際ソロプチミスト 100 高知  
(株)ユアティ・萩野昭子 白石慈恵 住友カラリ 高石理佐 高橋伸明 田中勇 徳永和香 葉月京  
坂東美紀 美容室ピ アリ吉花・岡崎由也里 広田理容店 福田桃枝 ポピーフローリスト 村上正浩  
村田恵理子 安岡千春

敬称略順不同 平成 28 年 10 月～

## 《バザー用品のご提供のお願い》

子ども達の生活に役立てるため、10月7日開催の秋祭りにバザーを開催します。  
お品物は9月25日までに直接お持ちいただくか、まとまった量がある方は職員が仕事の合間に引き取りにうかがいますので、電話でご連絡ください。  
お送りいただける場合は誠に恐縮ですが、送料はご負担いただいております。

## 《こんな物品を集めています》

贈答品・引き出物・日用品・雑貨・文房具・台所用品・食器・アクセサリ・傘・衣類・靴・バッグ・おもちゃ・赤ちゃん用品・未開封賞味期限内の食品。

全て新品・美品に限らせていただきます。ぬいぐるみ（使用済）はご遠慮下さい。

子ども向きのCD・DVD・本・ボードゲーム・切手・テレホンカード・書損じの葉書・商品券などは施設で使用させていただきます。

「こんなものがあるけれど・・・」と悩んだときはさくらの森学園担当：西森にご連絡を！！

さくらの森学園への寄付金は寄付金控除対象です。どうぞよろしくご申し上げます。

## 《募集しています》

- 家庭体験事業として週末や長期休みに帰省できない子どもを自宅に招いてくださる方
- 学習・遊び・IT 関係・環境整備のボランティア

詳しくはメール・電話でお問い合わせください。（担当：中村）

〒789-1201

高知県高岡郡佐川町甲 1115-3

社会福祉法人 同朋会 児童心理治療施設 さくらの森学園

Tel 0889-22-4333 Fax 0889-22-4332

<http://www.douhoukai.or.jp>

sakuranomori@douhoukai.or.jp